



令和3年7月5日

報道関係者各位

国立大学法人帯広畜産大学

## 帯広で日本本土新記録のムカデを発見

### 【リリース概要】

本学大学院生 開澤菜月（畜産科学専攻 環境生態学コース1年）及び帯広畜産大学 環境農学研究部門准教授 山内健生は、帯広市で採集されたムカデが、日本本土新記録種のオオチャイロイシムカデ（和名新称）*Lithobius forficatus*（イシムカデ目：イシムカデ科）であることを発見しました。新発見のムカデ種は帯広市の都市部にも普通に生息し、屋内に侵入する性質も認められました。今回の発見は、北海道東部の無脊椎動物の研究が非常に遅れていることを示しています。本論文は2021年6月28日に日本蜘蛛学会の学会誌 *Acta Arachnologica* に掲載されました。

### 【解説】

2019年に帯広畜産大学に着任した山内准教授は、本州では見たことの無いムカデ種が帯広市内に借りた住居内に侵入することに気づき、当時、畜産学部4年生だった開澤菜月と共に研究を行いました。

開澤菜月がムカデの形態を詳細に調査した結果、背板、顎肢、眼、雌雄生殖肢、および歩肢の基節腺孔などの形態的特徴から、そのムカデ種が日本本土未記録の *Lithobius forficatus* であることが判明しました。本種は世界に広く分布しますが、日本では北方領土の択捉島でしか見つかっていなかったため、今回の発見が本種の日本本土新記録となります。本種には和名が無かったため、論文の中でオオチャイロイシムカデという和名が新たに提案されています。本種は人為的な環境でのみ確認されたことから、移入種である可能性も考えられます。また、本種は、イシムカデ目の種としては、日本で初めて家屋害虫として認識されました。今回の発見は、北海道東部の無脊椎動物の研究が非常に遅れていることを示しています。

### 【特記事項】

本研究で使用されたすべてのムカデ標本は、千葉県立中央博物館に収蔵されています。

【発表雑誌】

Acta Arachnologica 70 (1): 1-5

DOI: <https://doi.org/10.2476/asjaa.70.1>

【論文名】

First records of *Lithobius* (*Lithobius*) *forficatus* (Linnaeus 1758) (Chilopoda, Lithobiomorpha, Lithobiidae) from mainland Hokkaido, Japan

【著者】

Natsuki Hirakizawa (開澤菜月): 帯広畜産大学 畜産科学専攻 環境生態学コース

Takeo Yamauchi (山内健生): 帯広畜産大学・環境農学研究部門 准教授

【連絡先】

国立大学法人帯広畜産大学

環境農学研究部門

准教授 山内 健生

TEL: 0155-49-5506

E-mail: [tyamauchi@obihiro.ac.jp](mailto:tyamauchi@obihiro.ac.jp)